

# 緊急集会

## 「教科書問題」を考えるシンポジウム

3月末、高等学校教科書の検定結果が公表され、2007年から使用される歴史教科書の沖縄戦記述に関して、これまでに比べて住民に対する軍の残虐行為や自決強要の記述が消えるなど、変化や簡略化が指摘されています。その多くは出版社の自主訂正によるものと報じられています。

一方、大阪地裁においては、大江健三郎氏と岩波書店を相手取った「沖縄戦集団自決訴訟」がすすめられています。座間味島と渡嘉敷島の「集団自決」は軍命令によるものではなく、住民の自発的意思による名誉ある行為だったというものです。

これらの問題を多くの方々と考えあいたいとシンポジウムを企画しました。ぜひ多くの方々の参加をお待ちしております。

### プログラム

報告1：高校教科書検定から見た沖縄記述の実態と課題（報告者：高嶋伸欣さん 琉球大学教育学部教授）

報告2：岩波「集団自決」訴訟のねらいと私たちの課題（報告者：津多則光さん 沖縄平和ネットワーク）

2006年5月9日（火）

午後6時30分～8時30分

那覇市女性総合センターにいるる

資料代：500円

主催：シンポジウム実行委員会

沖縄戦記録フィルム1フィート運動の会

沖縄県教職員組合

沖縄県高等学校障害児学校教職員組合

沖縄平和ネットワーク

沖縄人権協会

沖縄県憲法普及協議会

沖縄県歴史教育者協議会